

# 岐阜県の プラスチック

- ・ 組合青年部がプレ創立50周年記念事業で『き』業展に参加  
└ 異業種交流成果「新製品の価値観追求」を紹介 ─
- ・ 創立50周年記念式典は5月18日（金）に開催
- ・ 合同新年互礼会を開き、経営と人づくりで話し合う
- ・ 「求人倍率全国7位、人材確保さらに悪化」県の調査

異業種交流事業の成果をアピールした青年部員



## 8回重ねた『新年互礼会』の合同開催

# 次代に備え経営と人づくりを 来賓招いて成形と金型が交流深める

プラスチック工業組合と金型工業組合は1月16日午後、大垣市万石にある大垣フォーラムホテルで『新春講演会』と『新年互礼会』を開催した。8回重ねた合同事業にあたり両組合代表は「迎える新次代に備えて経営と人づくりが大切、とくに業界に精通した技術者の育成と生産性の向上に取り組む」とし、業界相互の交流と連携を確認した。

増田雅彦商工労働部次長は、これに応え「新年度の岐阜県の産業施策は、中小企業の人材確保と育成策を重点に支援していく」と、次代への取り組みを後押しした。

### 増田商工労働部次長ら来賓招く

互礼会は事業への謝意を込め、多くの関係者を来賓として招き百人規模の新年行事になった。最初に児玉プラスチック工業組合理事長が「環境変化に備え生産性と付加価値を高める経営に取り組みたい」とあいさつ、講演会に入った。

講演テーマは『ものづくり企業ができる働き方改革』で、東京海上日動火災保険(株)の土田晋也企画部次長が「健康経営に取り組み企業づくりに役立ててほしい」と多くの支援事例を紹介した。

続いて来賓の増田雅彦岐阜県商工労働部次長が『岐阜県の人材確保・育成の取り組み』を話した後、大城戸克之労働雇用課長が動向調査結果を説明した。

互礼会はパーティー会場へ移り、黒田金型

工業組合理事長が「次のステップに向けた磐石の備えが何よりも大切…」とあいさつした。

### 環境変化に備えた経営を

—児玉プラスチックエ組理事長ごあいさつ—

児玉栄一プラスチック工業組合理事長のごあいさつ。

「日銀は国の景気は“緩やかに拡大”し、東海・北陸は“強く拡大”していると見通してい



成形と金型業界が来賓と賛助会員を招いて開いた講演会と互礼会

ます。昨年はプラスチック業界が注目する原材料価格は比較的安定していましたが、人材不足が顕在化してきました。今年に入ると、原材料価格の値上げが打ち出され、電力はじめエネルギー料金に加え、各種ソフト料金も上昇傾向で、これに人材不足がのしかかっています。この環境変化を切り抜けるには“一層の生産性と付加価値を高める経営努力”に取り組むより道は無いと思います」と、さらに組合運営では

「昨年、実施した技能検定の合格率は全国平均を大きく上回る好成績でした。また自主事業の初任者研修事業でも、研修内容を大幅に見直して好評を得ることができ、両事業をサポートしていただいた産業技術センターに感謝しております。組合は創立50周年記念の式典準備や記念誌発行事業を進めておりますが、作業を進める中で、組合事業の運営に携わってこられた先人・先輩方の情熱と努力を思い、頭が下がります。新年度は平成から次代への第一歩を踏み出す年であり、組合員は新たな気持ちで記念の年を迎えるところです。引き続きご支援をお願いいたします」と関係者に支援と謝意を述べた。



創立記念事業を説明する児玉理事長

## 次への磐石の備えが大切

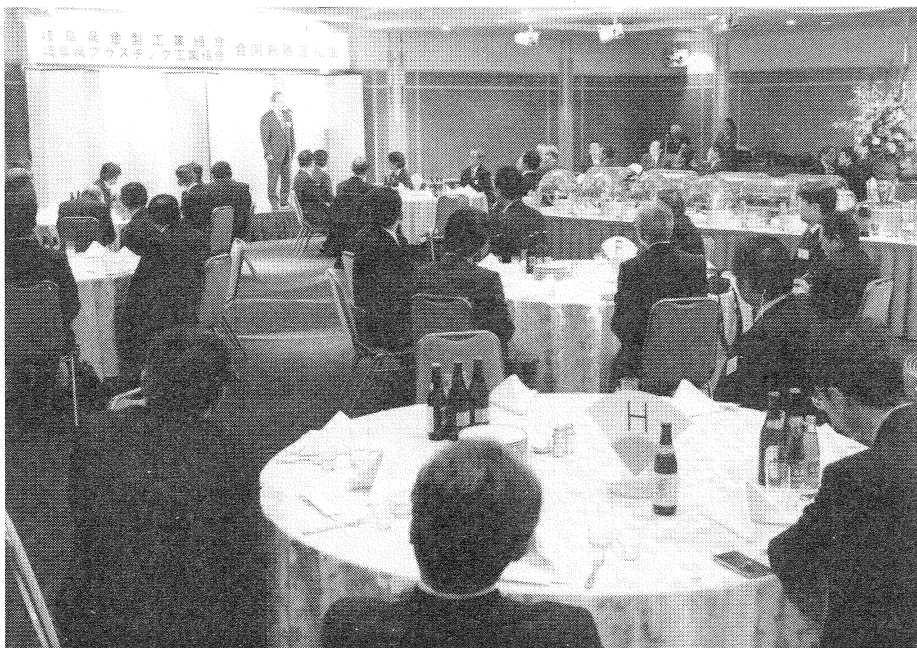
黒田金型工業組合理事長ごあいさつ

黒田隆金型工業組合理事長のごあいさつ。

「昨年の金型業界は、株価上昇など国内経済の好影響を受けて順調に推移しましたが、今年はその反動を受けないかと不安を感じております。金型業界としては、この機会に経営内容を見直すなど、次のステップに向けた磐石の備えが大切かと思っております」と、さらに

「講演会では人材確保についての課題をいただきましたが、組合は韓国の工業大学と協定を結んで学生の受入を実施しております。この2

年間に5人の学生に來てもらい、組合員企業の戦力になっております。また県内工業高校生を対象に金型コンテストを実施するなど、業界PRと同時に高卒者の就職促進に役立てております。新年度も岐阜大学の山下実研究センター長、岐阜県商工労働部の支援をお願いいたします」と組合事業の近況を話した。



パーティーで「磐石の備えが大切」と話す黒田金型工組理事長

## 来賓代表のメッセージ

### 人材確保と育成を総合的に支援

増田雅彦岐阜県商工労働部次長「岐阜県経済は緩やかに回復、企業の雇用状況も改善し有効求人倍率は1.81倍、全国7位にランクされたが、その一方で、企業の人材確保は急速に悪化・深刻化しています」と。中小企業対策では

「県では企業の人材確保・人材育成を総合的に支援するため、昨年4月に『中小企業総合人材確保センター』を設置し①企業の人材確保と支援②求職者の就労支援③県内外の人材獲得④産学金官と連携した学生の県内定着活動一に取り組んでおります。支援内容は相談業務や情報提供の個別支援から補助金制度まで準備しており、活用してほしい」。(詳細は6～7頁)

### 若き人材を県内企業へ送り出す

山下実岐阜大学次世代金型技術研究センター長「岐阜大学では機械工学部と金型技術研究センターを担当し、学生と大学院生に生産技術や製品開発を実践教育し、送り出しています。今年も金型・プラスチック両業界と共同で金型の

研究・開発に取り組み、同時に優秀な人材を企業へ送り出しますので、ご協力ください」。

### 経営者のリーダーシップに期待

大沼浩宣中小企業団体中央会事務局長「新春の箱根駅伝で青山学院大が4連続4回目優勝、またラグビーでは帝京大が9大会連続9度目の優勝を飾りました。話題になったのは“選手間のハーモニー”や“危機の中でも力を発揮”する両監督の育成方法とリーダーシップで、チームづくりは企業経営にも役立つと思います」。

### 研究機関を統合し新組織で進む

横山久範岐阜県産業技術センター所長「岐阜県の産業技術センター、情報技術研究所、工業技術研究所の3研究機関は集約統合し、新たなモノづくり技術の総合的な研究機関・技術支援の拠点へ生まれ変わります。関市の建設用地では施設建設に入ったところで、来年には技術開発棟と試作開発棟が完成する予定です。県の研究機関は節目の年を迎え、研究者・職員は新組織のもとに一体となり、県内産業の競争力強化・技術者育成・新分野進出を支援していきますので、ご期待ください」。



「3研究機関は総合的な研究開発・技術支援の新拠点に…」と、横山所長の音頭で一堂が乾杯

新春講演会の講演要旨

働き方改革

健康経営への取り組み

東京海上グループ(株)  
土田晋也企画部次長

国、県、中央会は  
昨年度から『地方創  
生事業』の一環とし  
て働き方改革実現推  
進運動を展開してい  
る。東京海上日動火  
災(株)グループは早く



講演する土田さん

から 150人体制で“地方支援ネットワーク”を  
結成し支援活動を開始している。新春講演会  
では支援活動の中心メンバー・土田晋也企画部  
次長を招き、独自に開発した「ものづくり企業  
ができる働き方改革—健康経営への取り組み」  
について説明をうけた。次は要旨。

健康経営とは将来に備える投資

○…健康経営とは「従業員の健康保持・増進  
への取り組みが、将来的に収益性を高める投  
資」とする考えをもとに「健康管理を経営的な  
視点から戦略的に実施」していくというもの。

健康経営に取り組むことにより①従業員の活  
力や生産性向上への組織活性化をもたらす②結  
果的には企業の業績向上や組  
織としての価値向上につなが  
ることが期待され“社員と  
家族の心身健康を大切にする  
マネジメント”になる。

健康経営への取り組みには  
次の四つの側面がある。

《経営理念・方針》企業と  
して「健康経営をどのように  
推進していくか」について、

健康管理方針や重点施策を作成し、トップから  
メッセージを発信する。

《組織・体制》企業内に健康相談室を設ける。  
健康管理担当者（担当課長）をリーダーに、産  
業保健スタッフと連携、健康経営推進会議や健  
康経営特別編成組織の推進体制を調える。

《制度・施策の実行》①定期健診の受診、高  
血圧などハイリスクアプローチ、メンタルヘル  
ス対策、若年者の肥満対策、健康増進策、スト  
レスチェック、過重労働対策—など健康管理施  
策を実行する②健康マネジメントの研修、新任  
リーダー研修などを実行する。

《評価・改善》健康管理システム、モニタリ  
ング、看護職会議をもとに評価し、改善に取り  
組んでいく。(表は健康経営へのステップ)

年代別リスクに応じた健康診断

○…社員、従業員は企業の最も大切な財産で  
あり、健康診断は身体の状態を定点観測し、把  
握する重要なセンサーである。したがって健保  
組合と連携し、各年代別のリスクに応じた健康  
診断への参加は欠かせない。

例えば30歳未満は法定項目にある定期健診の  
実施。30歳以上の場合は、上部消化器検査、  
眼底検査、眼圧検査、便潜血検査、血液検査な  
どによる徹底した健康診断が必要である。

3つの柱（健康経営を進める主体）

※「健康経営」推進ガイドブック（経団連出版）をもとに作成

「経営者」	トップダウンで推進
「管理監督者」	職場環境の改善・快適化を推進 (メンタルヘルス対策、ハラスメント対策、両立支援等)
「働く社員」	自らの健康度の向上、両立に向けた自助努力 (健康保持義務)

5つのステップ

※「健康経営ハンドブック2016」（経済産業省・東京府工業試験所）をもとに作成

①健康宣言	トップメッセージ
②組織体制	推進担当者の決定、外部資源の活用検討
③健康課題の把握	定期健診受診率、健診結果、ストレスチェッ ク等の確認
④計画策定・健康づくりの推進	優先順位付け、予算の確保、計画立案・実行
⑤取組みの評価・見直し	健康づくりの実施状況の把握、改善策の検討

# 雇用状況は改善されたが、人材確保は悪化

## 「互礼会に岐阜県関係者を招いて現状と対策を聞く」

岐阜県の雇用状況は改善されて求人倍率は全国7位にランクされたが、一方で企業の人材確保は悪化・深刻化している。新年互例会に県関係者を招いて、現状と対策を聞いた。

互例会では、増田雅彦商工労働部次長と大城戸克之労働雇用課長の二人から県の現状と対策を聞き、パーティー会場では雇用・人材・技術の各担当者と個別懇談した。次は成長・雇用戦略を進める中で調査し、まとめられた人材確保・育成の現状と対策の要旨。

### 現役世代の労働力は43万人減少

《県内企業を取り巻く現状》産業人材確保・育成ワーキンググループのまとめでは、東海地域を支える現役世代（15～64歳）は43万人も減少、14歳までの子どもは10万人減り、65歳以上の高齢者は約1万人も増加する。しかも大学進学者の約8割が県外へ進学、県内大学生の約6割が県外へ就職、若者の県外流出が加わる。

人材不足の背景には求人・求職のミスマッチや若者の理系離れもある。専門・技術職や生産工程の有効求人倍率が高い一方で、専門職の有効求人倍率は低水準にある。

### 新規高卒は3年以内に4割離職

企業の採用面を見ると①中小企業では求人4人に1人しか大卒人材を確保できていない②若者の高い離職率は、新規学卒者のうち高卒者で約4割が就職後3年以内に離職している③若年層（25～34歳）の非正規雇用労働者のうち、4人に1人は正社員として働く機会がなく、非正規雇用で働いている④就職希望があるのに育児などで働いていない女性は県内で10万人いる⑤65歳を超えて働きたい高齢者は全体の5割、



人材確保と育成策を説明する増田次長

企業規模が小さいほど高齢者を雇う割合は高い⑥外国人は留学生の約3割が日本で就職を希望し、その3割が県内企業への就職を希望している。実際の県内就職者は約5%にとどまる。

### 約7割の企業で中堅人材が不足

《人材確保・育成アンケート》約千社を対象に調査した553社（うち製造業177社）の回答は①人材不足企業は約7割（前回調査では約6割）で、サービス（余暇関連）飲食、建設、運輸、通信、金属製品、機械が高い②人材不足の企業では「中堅人材」が最も不足。従業員規模が小さな企業（20人未満）は中堅人材へのニーズが高い。金属製品・機械、建設業では「新卒正社員」も不足率が高い③正社員の採用頻度は、製造業の2社に1社が毎年採用し、従業員50人規模の企業は毎年採用し、20人規模以下では過半数が最近の採用がなかった。

採用活動をみると、正社員採用に積極的な従業員規模の大きな企業（50人以上）では「ホー

ムページ利用」や「企業説明会」が多い。

### 企業規模や知名度アップも重要

正社員採用に積極的な規模の大きな企業（50人以上）ほど「企業の規模・知名度」が重要と考えている。製造業では「職務内容」や「学校とのネットワーク」が重要と考える企業の割合が高くなっている。

人材確保に当たり働き方改革への取り組みでは、従業員規模が小さい企業ほど「働き方改革」の取り組みが進んでいない。製造業は他業種に比べ「長時間労働の是正」が少なく「外国人材の受入れ」事例がめだつた。

### 社内研修や社外研修制度が中心

《人材育成・研修制度の調査》従業員規模が大きい企業（50人以上）では「社内研修」や「社外研修」に取り組む企業が多かった。その一方、規模が小さい企業（20人未満）では「取り組みなし」の企業が2割あった。

人材育成の課題調査では、社内研修に取り組む従業員の多い企業（50人以上）では「ノウハウ不足」や「指導人材の不足」が課題で、少ない企業（50人未満）では「資金不足」が課題になっていた。とくに製造業では「技術承継」を抱える企業の割合が高かった。

### 不足人材は技術・研究職が多い

《人材不足のヒアリング》人材不足の現状を聞くと「プラスチック」「サービス」「食品」「機械金属」「金型製造」の業種で不足感が強い。

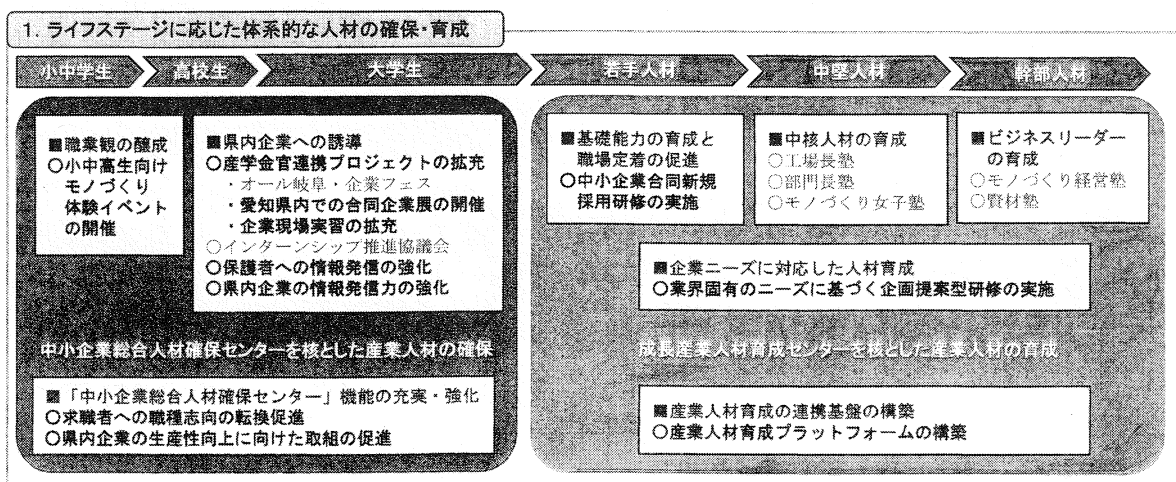
不足する人材は「技術・研究職」がめだつ。機械金属や金型製造は「製造職・設計職」プラスチックでは「製造部門は年中欠員」「ハローワークに求人しても集まらない」とし「外国人実習生」「派遣社員」に頼り補充している。

全体では「大卒」「高卒」などの新卒者に加え、人材育成に余力がない企業では「経験のある中途採用」を希望している。

経営に及ぼす影響は「技術・ノウハウの継承」「受注増への対応」が困難とする企業が多い。求める人材は、性格や仕事への興味があるなどの「人間性」「技術・スキル」やコミュニケーション能力などの「基礎能力」を求めている。

### 期待される総合人材確保センター

《人材確保・育成に向けた対応策》岐阜県が取り組む平成30年度の「産業人材施策の概要」は表のとおりで、シンクタンク庁舎内に設置した「中小企業総合人材確保センター」を総合支援拠点に、人材育成は成長産業人材育成センターを核に推進するとしている。（13頁に案内）



# 屋形船テーマに新製品の価値観を追求

「青年部の異業者交流成果・多治見の「き」業展に参加」

当工業組合青年部（武藤修平部長）は2月2日から2日間、多治見市が開催したセラミックパークMINOの『第15回「き」業展』に出展参加し、プラスチックと陶磁器の異業種交流成果を発表した。提案した成果は、両業界の青年部が互いに新開発製品を持ち寄り“鶴飼の屋形船をテーマに新しい価値観の創出”を試みた企画で、多くの参観者から関心を集めた。

## プレ創立50周年記念として支援

工業組合は創立50周年を迎えることから『プレ創立50周年記念事業』として、青年部が新事業として進めてきた下石陶磁器工業(協)青年部有志との異業種交流会を支援して来た。

青年部員は互いの工場を見学・交流する中で「プラスチックと陶磁器…異なる分野の製品が連携すれば、さらに新しい価値観が生まれる」という発想を得て新開発製品を持ち寄り、中央会派遣のコーディネーターやデザイナーから指導を受けながら完成したのがテーブルコーディネート。

「き」業展に与えられた展示小間に、プラスチック8社と陶磁器3社から、延べ50点の新開発製品を集めて、日常の暮らしにも役立つ最終プランをまとめて展示した。

## コーディネートも大切な考え方

集まった新開発製品の機能を伸ばす秘策は①多孔質タイルを使用したテーブル②タイルのテーブルの補強に軽量プラスチック板を活用③テーブルの脚などに植木鉢用や車部品用の塗装を行い新鮮味さを追求④成形工程の廃材を回収した再生品の活用⑤陶磁器と水回り製品の新用途一が生まれた。多彩なアイデアは、異素材を組み合わせた製品に留めず、コーディネートも意識した結果、軽くて丈夫で美しい“鶴飼観覧船用テーブル”が完成した。

次は各社から提供のあった新開発製品の活用事例で、さらにアイデアを生かした新しい価値観を追求していくことが望まれる。

《吸水タイル・床材タイル》タイル産地で開発された機能性タイルは、一瞬に水分を吸収する吸水タイル。しっかり焼成されており、丈夫で寸法が正確。タイルをテーブル天板に使用すると“輪染み”も出来ない。水を含んだ吸水タイル片を凍らせれば“保冷剤”としても使用できる。(提供は立風製陶(株))



「き」業展に出展参加した128企業・団体が一堂に集まり、未来を変えようと交流した



《テクセル》タイルをテーブルに使用した場合、ネックは重量。プラスチック新素材テクセルを採用して解決した。(提供は岐阜プラスチック工業㈱)

《サーバー》県内産地では多くの水回り製品が生産されている。その新用途を考え陶磁器と水回り部品を組み合わせ、遊び心あふれる日本酒サーバーが誕生した。(提供は㈱フクシマ化学)

《OAフロア》プラスチック・陶磁器・タイルは日常生活にあふれ、表に出ない縁の下の役割。フロア製品で展示製品をドレスアップして



交流事業から生まれた製品を評価する参観者



「交流事業の成果を見てほしい」とアピールする両組合の青年部員

みると。(提供はサンスリー㈱)

《酒器・食器・箸置き》下石には多くの鋳込み製品のメーカーや窯元がある。新しい店舗のイメージづくりを…の提案があり、地場産品をまとめ、新しい組み合わせをしてみた。(提供は窯元荒神窯・晋山窯ヤマツ㈱)

《リサイクル資材・再生品》プラスチックの成形工程の端材を原料に、多くのリサイクル製品も生まれており、日常生活の中に取り入れてみた。(提供は旭化学㈱・岐阜産研工業㈱)

### さらに新しい価値観の追求を…

《箸・フラワーベース》成形加工業の中で、日用雑貨品の成形は古い歴史と経験があり、また製品アイテムも無数にある。その製品を集めて毎日を豊かにする場所はないか、と考えた。

(提供は㈱武藤化成工業所・㈱服部樹脂)

《塗装》自動車や携帯電話など工業部品の塗装に、岐阜の塗装技術が活用されている。そこで植木鉢に塗装してテーブル脚や陶磁器に工業部品用の塗装をしたら…などと、塗装の可能性を追求した製品が誕生した。(提供は㈱奥田)

# 全国製造業の出荷額 1位は輸送用機器

「経済センサス・全国プラスチック製品は10位」

『28年経済センサス調査』の全国産業別集計（従業員4人以上）によると「製造品出荷額は4年連続増加し、付加価値額は3年連続増加した」ことが分かった。

## 全国プラスチック事業所数5位

《事業所数と従業者数》平成28年6月1日調査の全国製造業は、事業所数21万7601事業所、26年の工業統計結果に比べて7.5%増加、4年ぶりに増加した。産業中分類別では①金属製品2万8776事業所、構成比13.2%②食料品製造2万8239事業所、同13.0%③生産用機械器具2万651事業所、同9.5%④位は繊維工業と続き、プラスチック製品は⑤位で1万3631事業所、構成比6.3%へ伸ばした。

全国従業者数は749万7792人で、産業分類では①食料品111万9819人②輸送用機械器具104万1452人③金属製品58万3664人④生産用機械器具56万4958人。プラスチック製品は⑥位の

41万1676人、1.4%増加、構成比は5.5%。

《出荷額と付加価値額》全国の製造品出荷額は313兆1286億円、26年の工業統計結果に比較すると2.6%の増加。産業別は①輸送用機械器具64兆6539億円、構成比20.6%②化学工業28兆6222億円、同9.1%③食料品28兆1022億円、同9.0%④鉄鋼業17兆8420億円、5.7%⑤生産用機械器具17兆8374億円、同5.7%の順。プラスチック製品は⑩位の11兆7671億円、2%増加、構成比は3.8%になった。

全国の付加価値額は98兆280億円で6.2%増えた。産業別では①輸送用機械器具18兆286億円、構成比18.4%②化学工業10兆5465億円、同10.8%③食料品9兆5266億円、同9.7%の順。プラスチック製品は⑧位の4兆2370億円、3.8%増加し、構成比は4.3%になった。

なお出荷額の品目別では、自動車用プラスチック製品が5.0%増加し順位を1位上げて⑭位となり、県別では①愛知②群馬③静岡一の順。

## Plus New Idea

### 射出成形の未来を拓く。

日精樹脂工業は、お客様が抱える成形加工における煩わしさの低減や付加価値の高いモノづくりに向けた多彩な技術提案をさせていただきます。



射出成形機

高性能射出成形機  
NEX-III Series (電気式)  
FNX-III Series (ハイブリッド式)

NISSEI

射出成形機・金型・成形支援システム  
**日精樹脂工業株式会社**  
本社：〒517-0883 長野県埴科郡埴科町南家2-1-10  
【営業部】TEL: 0269-91-1050 FAX: 0269-91-1551  
<http://www.nisseijushi.co.jp>

射出成形をトータルサポート

成形材料  
成形工法

金型  
自動化システム  
周辺機器



2色の異材質



複合材成形



厚肉成形



LSR



インサート成形



PIM



MIM



多層成形

## ソフトピアでIT経営セミナー

「見える化」工場の事例発表も行う

当工業組合・大垣商工会議所・ソフトピアジャパンの3団体は合同で2月19日、ソフトピアジャパンセンタービル会議室で『IT経営セミナー』を開催した。テーマは「IoTを経営のチカラにする秘訣—見える化のその先へ」で、講演、事例発表に続いてデモや相談会もあり、参加者から「データの活用で、生産性が上がる仕組みがよく分かった」と好評を得た。



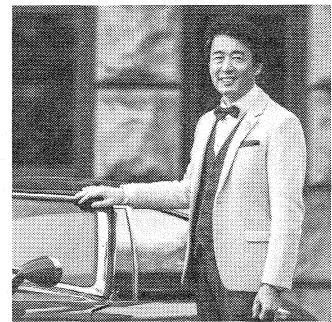
## 『50周年記念誌』の発行事業進む

工業組合は創立50周年の記念式典に合わせ『記念誌』の発行事業を進めている。装丁（左）はA5版、表紙など一部カラー印刷とし、項目ごとに清流ぎふの写真を入れ、見やすくした。

主な内容は①関係各界の祝辞②写真で見る組合三大事業③組合50年間の事業と歴史④歴代役員・組合員・青年部員・賛助会員の紹介⑤協賛広告—など。協賛広告は関連会社、賛助会員はじめ90社から協力を得て、全体で160頁の豪華本を発行予定している。

### 5月18日（金）に通常総会と記念式典を開催 岐阜グランドホテルで成形業界の未来めざす

工業組合は5月18日（金）午後2時から岐阜グランドホテルで『第30回通常総会』に続いて『創立50周年記念式典』を開催する。記念式典には多数の来賓を招いて、組合員が一堂に集まる。各界の祝辞、表彰、講演の行事と共に、昭和・平成と続いた50年間の活動を振り返り、新たに始る次代の“成形加工業界と企業の未来”をめざす。



記念講師の布垣さん

### 記念式典は午後3時に開始

次は当日の総会と式典のタイムスケジュール。  
 《式典会場》岐阜グランドホテル西館月と花の間  
 《新年度総会》……………14時15分～14時45分  
 《記念式典》……………15時00分～16時20分  
 《記念講演会》……………16時30分～17時30分  
 《記念ミニコンサート》………17時40分～18時20分  
 《記念パーティー》……………18時30分～20時00分



ミニコンサートのサクソホン・カルテット



記念式典の会場となる岐阜グランドホテル

## 岐阜県のプラスチック 2018年 第231号

平成30年3月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番地1号  
 (岐阜産業会館4階)

電話(058) 272-7173

FAX(058) 276-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 岩津 文子

## 中小企業庁の情報発信



**中小企業庁ホームページ**  
<http://www.chusho.meti.go.jp/>

中小企業庁

検索

中小企業施策に関する最新情報をはじめ、金融・税制などの情報や助成金の公募状況、関連イベントの開催情報などを提供しています。

パンフレットやチラシなどのネット申込みやダウンロードも可能です。



携帯電話で中小企業施策情報にアクセス！  
新着情報はもちろん、外出先でも役に立つ情報が手軽に入手できます。モバイル中小企業メールマガジン(水曜日配信)もぜひご登録ください。

**モバイル中小企業庁**  
<http://chusho.mjmk.jp>



**各種出版物**

各種冊子については、中小企業庁のサイトにて直接お申し込みください。その際、中小企業支援機関以外の方については送料をご負担いただいております。発送スケジュールがありますのでサイトをご確認ください。個別発送は行っておりません。

編集・発行

〒100-8912 東京都千代田区霞ヶ関1-3-1

中小企業庁 広報室 **03-3501-1709**

全てのニーズにお応えするJPP  
技術力で信頼にお応えするJPP

# Excellent Polypropylene

日本ポリプロ株式会社は、全てのお客様の信頼に広範かつ高度な技術力で適確にお応えしてまいります。

**ノバテック®PP**

卓越した材料設計技術で広範な応用分野のニーズにお応えするポリプロピレン

**ウィンテック®**

独自のメタロセン触媒技術によって開発された新世代ポリプロピレン

**ニューコン®**

当社独自の気相重合法によって制御された特異的な固体構造を有する新規ポリオレフィン系リアクターTPO

**ニューストレン®**

高い溶融張力を有し、大型ブロー、肉厚シート成形、異形押出成形が可能な高機能ポリプロピレン

**ニューフォーマー®**

高い溶融張力と歪み硬化性を有する発泡成形用ポリプロピレン

**ファンクスター®**

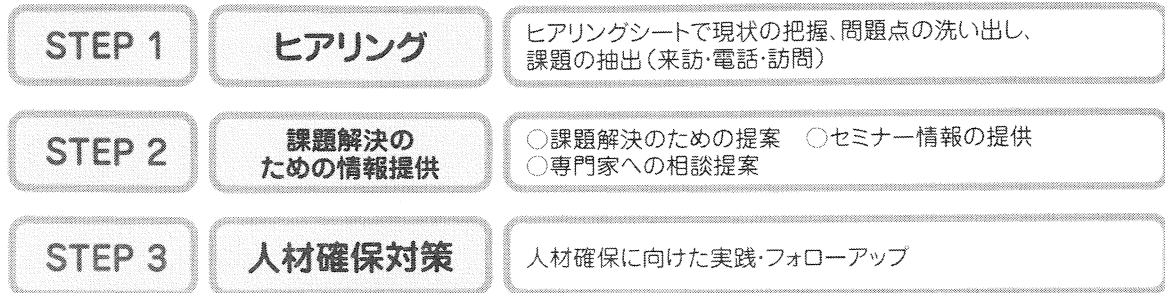
射出及び溶融圧縮成形向け高性能ガラス長繊維強化ポリプロピレン

 **日本ポリプロ株式会社**

〒108-0014 東京都港区芝4丁目14番1号 TEL03-6414-4500

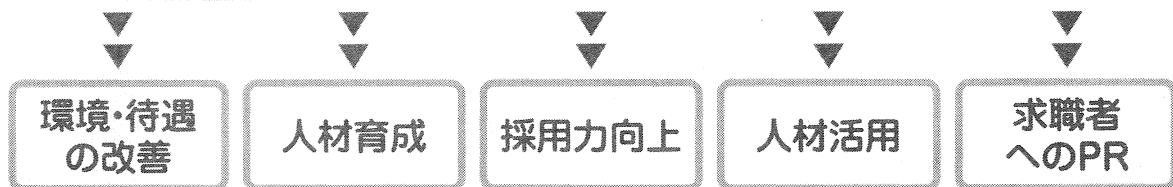
# ● 企業向け個別支援のご案内

## ご利用の流れ ～課題別のメニューご紹介～



## 課題解決のためのノウハウ・提案・情報提供

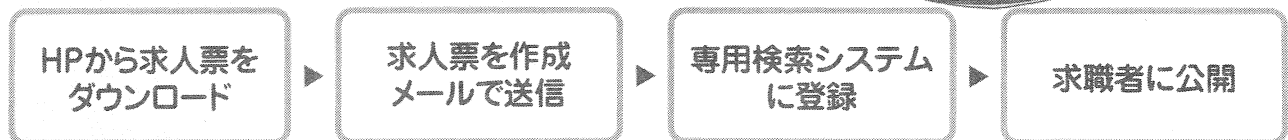
# 岐阜県中小企業総合人材確保センター



※ご相談は事前にご予約をお願いします。

# ● 求人情報の登録・公開

ご利用は無料です



## 岐阜県中小企業総合人材確保センター

岐阜市藪田南5-14-12 岐阜県シンクタンク庁舎 2F

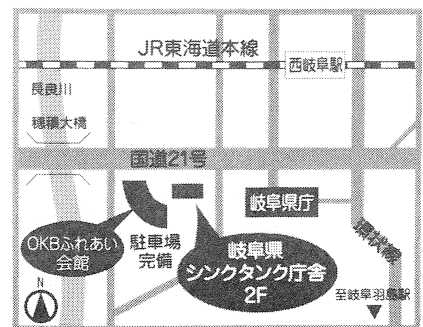
TEL.058-278-1146

FAX.058-278-1148

利用時間 月曜日～土曜日 9:15～18:00

休業日 日曜日・祝日・年末年始

<http://www.jinzai-gifu.jp>



※無料駐車場有

KODAMA

時代のニーズに応える、次世代容器

# ハイパーピュアボトル

NEW

ハイパーピュアボトルは、半導体用高純度薬品容器として、  
新たな成形技術により生まれた高品質・高精度な多機能容器です。  
高いバリア機能を有した高耐久・ハイクリーンな次世代ボトルです。

## 特徴

### ハイクリーン化の実現

原料メーカーと共同開発した原料を使用することによりハイクリーン化を実現致しました。  
また、更に当社独自の製造技術革新によりパーティクルを大幅に減らすことが可能になりました。

### 多層容器の開発

従来のピュアボトルの2層構造に比べ、ハイパーピュアボトルは5～7層構造になっており、最内層樹脂の選択が可能となり、クリーン性とバリア性を同時に実現することが可能となりました。

### 安心・安全

プラスチック容器であるため、耐久性・耐衝撃性に優れ、破損の心配なく、安心してご使用いただけます。

### 環境との調和

ガラス瓶に比べ、破損等の心配がなく、軽量であるため取扱い易く、輸送面において環境に優しく、より経済的効果を得られます。



Kodama Plastic co.,Ltd



コダマ樹脂工業株式会社

<http://www.d-kjk.co.jp>

本社	〒503-2393	岐阜県安八郡神戸町末守377-1	TEL 0584-27-4141
営業拠点	本社営業部	〒503-2393	岐阜県安八郡神戸町末守377-1 TEL 0584-27-4992
	東京支店	〒104-0031	東京都中央区京橋1丁目16番10号 TEL 03-3564-5266
	大阪支店	〒530-0001	大阪市北区梅田2丁目5番2号 TEL 06-6341-0015